

Classic Nagoya  
クラシック名古屋  
〒460-0024  
名古屋市中区正木西四丁目8番7号れんが橋1F  
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330  
http://clanago.com

プレイガイド  
アイチケット  
☎0570-00-5310

# ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO  
①舞台イベントの企画・制作・マネージメント  
②芸術コンサルティング  
③タレントのマネージメント  
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社マネージメント・プロ  
〒461-0004名古屋市中区葵2-11-22アバンテージュビル305  
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097  
E-mail: mane-pro@mane-pro.com  
HP: http://www.mane-pro.com

**⑩ CAMIYU**  
98年、文化庁の支援を受け渡仏。00年にはミュージカル「ポートルダム・ド・パリ」に、日本人として初めて出演したCAMIYU(カミユ)金沢市出身が「エルム」に。昨年12月に続いて2度目の来演である。

## シャンソンの扉

### ピアフに導かれダンスからシャンソンへ



シンガーのCAMIYU

96年に静岡県舞台芸術センターに所属し、当時の芸術監督J・C・ガロット(フランス出身)に強い影響を受けた。ガロットはコンテンポラリーダンスの第一人者で、名古屋のダンサー倉知可英も、彼が主宰するグループで活躍している。

10年間のフランス留学を終えて帰国したCAMIYUは、ダンスからシャンソンへとフィール

## この公演「誰も見逃してはならぬ」



名古屋テアト管弦楽団/合唱団(昨年の設立記念演奏会)

### 7月1日 名古屋テアト管弦楽団/合唱団 東海市芸術劇場で「トゥーランドット」

熱い、熱い音楽愛好者たちが集い、かつてない濃厚なオペラコンサートが行われる。名古屋テアト管弦楽団/合唱団(以下・テアトロ)が7月1日(午後2時)東海市芸術劇場大ホールで開催



基村 昌代



井原 義則



宮崎智永と上井雅子(昨年)

5月の連休に集中練習を行うテアトロを訪ねた。まず感じたのは管楽器の迫力。特に金管の華やかさにしびれた。その

**DanSkate**  
ダンスケイト  
http://danskate.com  
TEL 052-265-7900

**⑪ Maxime**  
大都市の大ホールから、地方のライブハウス



ピアニストのMaxime

### 「音楽は世界の共通語」と確信し

へ。ミュージシャンやリナーの指向が変化している。4月に初来日し、名古屋の「エルム」などで演奏したフランス人ジャズピアニストMaxime(マクシム)もそう。

ドを移した。エディットピアフの影響が大きかった、と回想する。エルムでも「私の回転木馬」愛の賛歌」などピアフの曲を「ダンスで培った表現

咆哮に勝るとも劣らぬパワーを放ったのが、主役のカラフ王子を演じる宮崎智永(テノール)。オケも熱い、合唱団、ソリストも熱い。本番2か月前の練習とは思えぬ充実ぶりである。

宮崎は、テアトロが昨年7月に行った設立記念演奏会「イタリアオペラ・ガラコンサート」(東海市芸術劇場)にも出演し、メンバーの信頼を得た。ハイクのあるカラフ役はテノールのあこがれ。全力を注いで完成させたい」と入れ込む。

HITOMI HALL Prism Stage  
HITOMIホール プリズムステージ  
多彩に煌めくステージをHITOMIホールで  
MBAイベント事業部が企画するHITOMIホール プリズムステージ、その他の公演についても随時、情報発信しています  
http://event.menicon-ba.co.jp/

チケットお申込み・お問合せ  
[メニコンビジネスアシスト(MBA)イベント・クリエーション部]  
電話 052-935-1630 (平日10:00~18:00)  
メール mba-event@menicon-ba.co.jp  
名古屋市中区葵三丁目21番19号  
メニコン ANNEX 5F

日比野景リサイタル  
KEI HIBINO RECITAL  
2018 8/22(水)  
14:00開演 [13:30開場] 全自由席  
料【一 般】前売4,000円/当日4,500円  
【高 校 生 以 下】前売1,500円/当日2,000円

安治をモデルにした反戦ドラマ。出演は末吉康治、岡田一彦ほか。全自由席3000円(当日3500)円。

第9回アジア文化芸術祭「日本・スリランカ伝統踊りと音楽」6月28日(午後5時30分)市民会館フォレストホール。

スリランカを代表するチャンナ・ウアリ舞踊団、日本舞踊の西川長秀、大治太鼓、舞姫成瀬朝香らが友好のステージを展開する。A席5000円(当日5500)円、B席4500円(同5000)円。TEL052(414)7860。

西みほ&リュカの女性限定トーク・ライブ「ローズ・ユア・アイズ」6月30日(午後1時30分)中区東桜2-18-24のサンマルコビルB1・スウィング。

西のボーカルとリュカのピアノで、仕事や育児、人間関係に悩む女性を対象に音楽とスイーツを楽しむ。ドリンクとスイーツ付きで3500円。TEL0800(977)5605。

指揮者の佐藤は「個々のレベルにバラつきがあるのはアマチュアの常。しかしこのオケには総力でそれをカバーしようとする熱意とチームワークがある」と絶賛。上井代表は「練習はイタリアオペラの素晴らしさを体感できる至福の時間。ハートと結束で最高の本番を迎えたい」と意気込む。

ソリストはほかに基村昌代(トゥーランドット)、井原義則(皇帝)、伊藤貴之(ティムール)。そして劇的な表現力、歌唱力が要求される悲劇のヒロイン、リュウには上井雅子(ソプラノ)が抜擢されている。

全自由席3000円。東海市芸術劇場は名鉄「太田川駅」(金山から11分)直結。TEL0562(38)7030。

昌代(トゥーランドット)、井原義則(皇帝)、伊藤貴之(ティムール)。そして劇的な表現力、歌唱力が要求される悲劇のヒロイン、リュウには上井雅子(ソプラノ)が抜擢されている。

全自由席3000円。東海市芸術劇場は名鉄「太田川駅」(金山から11分)直結。TEL0562(38)7030。

パリでジャズスクールのプロミュージシャンとしての腕を磨いた。来日の1年前から書籍や映像を通して、日本を予習。「久石譲の曲が好き。奈良では満開の桜を見ることができました。来年も日本ツアーを行います」と日本語で語る。「音楽は喜びや哀しみを分かち合うことのできる世界の共通語」とも。

エルムでは「愛の賛歌」「枯葉」などを独自のアレンジで披露。ジャズ、シャンソン双方のファンを魅了。終演後には得意(?)の日本語で来場者と交流した。これもライブハウスならではの光景である。

演奏会・発表会・ステージ等カラードレス・アクセサリー専門店  
Enclair  
¥10,000~¥70,000までのリーズナブルプライス。アクセサリーSETは¥4,980~  
東山線・上社駅前すぐ・駐車場完備  
ドレスショップ/アンクレール  
OPEN 11:00-19:00 CLOSE 月曜1日定休  
名古屋市中区東区上社1-506-1F TEL:052-739-6155



ど、日本歌曲に意欲的に取り組み、長年の活動がそれぞれ評価された。また、過去の受賞者によるコンサート「音環Ⅷ」が9月27日に電気文化会館で開かれる。出演はソプラノ渡部純子、バリトン初鹿野剛、ピアノ伊藤仁美。

で、著名な作曲家や楽曲に関するエピソードを、作曲家でピアニストでもある加藤が、楽しく分かりやすく解説する。加藤は全国でこのレクチャーコンサートを行っており、昨年10月に名古屋（HITOMIホール）で初開催。これが好評を博し、シリーズ化が決まった（主催はメニコンピネアンス）。

1月18日「ドビュッシー vs ラヴェル」④1月19日「加藤昌則 Specia」1ソロコンサート「開演はいずれも午後3時」。今年度は毎回2人の作曲家を取り上げ、両者の人間性や音楽性を対比させることでリスナーの興味を増幅させる。加藤は「自分が学んだ知識と、実

際に彼らの曲を演奏して実感したことをお話しします。クラシックファンは好奇心を満足させることと請け合いです」と来場を呼び掛ける。加藤は6月11日「藤木大地方ワンターテナリーサイタル（HITOMIホール）」に伴奏ピアニストとして参加。7月7日

のセントラル愛知交響楽団定期演奏会（しらかわホール）では加藤の作曲作品「16世紀のモンタージュ」が初演される。加藤のレクチャーコンサートは全自由席2500円（当日3000円）円、高校生以下1500円（同2000円）円。TEL 052（935）1630。

ファッショナブルで官能的な彼女の演奏だ。まるで楽器に人格があるように寄り添い、語り合うように共鳴した。この日は小澤征爾門下のロッセングルゴフ（アルガリア出身）の指揮で、ヤナーチェクの「死者の

家から「シンフォニーエッタ」、ゴレミンフの「弦楽のための5つのスケッチ」が演奏された。「スケッチ」はストリングスのみの演奏。大正ロマンを思わせる旋律、そして次に来る時代を予感させる文学的な作品だった。

### ピアニスト山本敦子 ソプラノ佐地多美に 音楽ペンクラブ賞



第13回（2017年度）名古屋音楽ペンクラブ賞が、ピアノの山本敦子とソプラノの佐地多美に決まり5月14日、名古屋市内のホテルで表彰式が行われた。クラシックの優れた演奏者に毎年贈られており、藤井知昭代表から2人に表彰状が渡された。山本は昨年の加藤典子追悼演奏会での伴奏をはじめ、名フィルの演奏会に参加するなど多彩な活動が、佐地

は日本歌曲連続演奏会な

### 加藤昌則クラシック入門講座 HITOMIホールでシリーズ化

クラシック音楽の演奏会ほど、サービス精神に欠けるステージはない。プロの演奏家は、優れた演奏を提供するだけでなく、ファンを満足させ、新たなファンの獲得につながる工夫をすべきではないか。そこで紹介するのが「加藤昌則のクラシック〜ギモン解明入門講座〜



加藤昌則（昨年10月）

### 名フィル定期演奏会で異彩放つ



名フィルと共演する大茂絵里子

大茂絵里子（大茂絵里子）は、名古屋フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターを務める。今年度は毎回2人の作曲家を取り上げ、両者の人間性や音楽性を対比させることでリスナーの興味を増幅させる。加藤は「自分が学んだ知識と、実

際に彼らの曲を演奏して実感したことをお話しします。クラシックファンは好奇心を満足させることと請け合いです」と来場を呼び掛ける。加藤は6月11日「藤木大地方ワンターテナリーサイタル（HITOMIホール）」に伴奏ピアニストとして参加。7月7日

のセントラル愛知交響楽団定期演奏会（しらかわホール）では加藤の作曲作品「16世紀のモンタージュ」が初演される。加藤のレクチャーコンサートは全自由席2500円（当日3000円）円、高校生以下1500円（同2000円）円。TEL 052（935）1630。

ファッショナブルで官能的な彼女の演奏だ。まるで楽器に人格があるように寄り添い、語り合うように共鳴した。この日は小澤征爾門下のロッセングルゴフ（アルガリア出身）の指揮で、ヤナーチェクの「死者の

家から「シンフォニーエッタ」、ゴレミンフの「弦楽のための5つのスケッチ」が演奏された。「スケッチ」はストリングスのみの演奏。大正ロマンを思わせる旋律、そして次に来る時代を予感させる文学的な作品だった。

番を弾いた。緊張したとは言うが、演奏する自分自身を、冷静に指揮している稲垣がいる。まるで呼吸するように、ナチュラルな演奏である。本領は後半、バッハの「パルティータ第一番」の後、藤川大晃の「Interlude」、ラヴェルの「高貴で感傷的なワルツ」とプロコフィエフの「トッカータ」を切れ目なく連続演奏し、リスターを圧倒した。すさまじい音の洪水に細胞のすべてが洗われ活性化

### チェンバロ奏者・小原道雄

7月4日・熱田文化でリサイタル

名古屋在住のチェンバロ奏者・小原道雄が7月4日（午後7時）熱田文化小劇場でリサイタル「独歩独歩〜ドイツとポルトガルのチェンバロ音楽」を開く。

カルヴァーリョの「トツカータ」、遠藤秀安の組曲「グランシャリオ」ほかを演奏する。



全自由席2700円（当日3000円）円。TEL 052（733）88809。

### 第3回 NBA名古屋ジュニアバレエコンクール

2018.9.22 (土)  
名古屋市芸術創造センター

応募期間：2018.5.16 ~ 8.3

参加費：コンクール部門（小学3年生〜）

20,000円

：プレコンクール部門（小学2年生〜）

17,000円

※期間中でも定員になり次第締め切りとなります。  
※お申込みはインターネット、FAX、現金書留で。  
※申込書はホームページからダウンロードできます。

#### 参加者の6大特典

- ① 上位入賞者にはNBA全国コンクールのシード権を授与
- ② 自分が踊ったDVDを無料プレゼント
- ③ もれなく認定の「賞状」を送付
- ④ NBAオリジナルTシャツプレゼント
- ⑤ コンクール部門参加者には成績表を無料送付
- ⑥ NBAバレエ団芸術監督等のクラスを無料受講可（抽選）



【お問い合わせ】NBA バレエ団ジュニアコンクール事務局

TEL:04-2937-4921（月〜金 9:00〜5:00）

FAX:04-2924-7772 Mail:con@nbaballet.org

HP:www.nbaballet.org

NBAバレエ団 検索

### 新スタジオで一門が総力



清洲MDA・黒田勇（中央）

清洲MDA  
ダンサー、振付家とし

が来場した。門下生、ゲスト交えての全20作。上演時間は休

憩なしの90分、次から次へと多彩なダンスシーンが連続する。そんな中でも、非凡な才能を秘めたダンサーは、やはり際立つものである。その一人がソノ、デュエット、群舞の3作を踊った黒田勇だ。彼のダンスは情感に満ち、強いメッセージ性があふれた。

石原は群舞2作のほか、盟友の多湖由香里、苅谷夏子のトリオで自作の「Us」を踊り、アンコー

マリンバ・大茂絵里子  
演奏会で最もアクティブなパフォーマンスを展開する楽器、マリンバはその典型だろう。愛知県立芸術大学卒業後、米



柴垣健一（HITOMIホール）

今回は前半にシューベルトの舞曲「高貴なワルツ集」、モーツァルトが人生の伴侶を得た翌年に書いた「ピアノソナタ第13

惜しかったのは会場に空席が目立ったこと。このまれに見る逸材を、全国、海外に向けてアピールできるのは、中央のマスメディアではなく、名古屋の音楽ファンの使命だと私は認識している。

家から「シンフォニーエッタ」、ゴレミンフの「弦楽のための5つのスケッチ」が演奏された。「スケッチ」はストリングスのみの演奏。大正ロマンを思わせる旋律、そして次に来る時代を予感させる文学的な作品だった。

舞台批評



伊藤敬演出「沈香」
戦争を語り継ぐ演劇公演第5弾「沈香(しんこう)」を見た。回想でつづる伊藤敬独自の演出と、推しを重ねたであらう山岸千代栄の脚本が

胸に届いた「反戦」のメッセージ

ジャストマッチした優れた作品だった。物語の題材は1945(昭和20)年の「名古屋大空襲」。東区大曾根にあった軍需工場が米軍の集中砲火を浴び、

ヒロインと演者が鮮やかに同化

「ことばの会えくせるしあ」を主宰する竹元まき子が朗読公演「出雲の阿国」(原作・有吉佐和子、演出・木村繁)を開いた。古今東西さまざまな形態、脚本で上演されている人気作品だが、その都度、異なる阿国が登場し、そして新たな阿国を見る度に、これまでに見た阿国がよみがえるのである。



竹元まき子「出雲の阿国」

歌舞伎の始祖とされる阿国は、踊ることに人生のすべてを費やした情熱的な女性である。喜びと失望、成功と挫折を繰り返す。言葉と音楽の間

返し、安住の地を得ることなく生涯を終えた旅芸人である。竹元は時代や社会の描写を最小限にとどめ、阿国の内面描写に大半を費やした。言葉と音楽の間

「(ま)に鮮明に情景が見えた。まさに朗読は、観客が想像によって作り上げるパフォーマンスである。劇場小ホール」

第23回 ゆうこ♡バレエスタジオ Ballet Festival
創作 人魚姫
2018年7月22日(日)
開演14:00 (開場13:30)
名古屋市芸術創造センター
入場料:全自由席 ¥1,000
(GUEST)
北川 優佑(Dance Company UNICORN) 山田 裕也(松岡侑子バレエ団)
主催:ゆうこ♡バレエスタジオ
後援:愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市・名古屋市教育委員会・中日新聞社・フェアリー会・ナゴヤ劇場ジャーナル
お問い合わせ:ゆうこ♡バレエスタジオ Tel.(0567)32-1636 マネージメント・プロ Tel.(052)508-5095

日仏シャンソン協会並びにカフェ・コンセール・エルム設立 30周年記念祝賀会
2018年7月26日(木)
ホテルナゴヤキャッスル
名古屋市中区藤の113番19号
TEL:052-211-2121
¥20,000 (ランチ・ショー・税別)
受付 11:15
祝賀会 12:00
ランチ 12:50
ショー 14:00
お問合せ TEL 052-733-0085

「見えないもの」を的確に体現し

倉知可英&伊藤志宏
小空間でのピアノ演奏とコンテンポラリーダンスの融合。ホールや劇場では体験できない濃密な時間を過ごした。ジャズピアノリスト伊藤志宏と、ダンサー倉知可英のコラボレーション「幻視者」(5月16日・ギャラリハセ)だ。

「幻視者」は志宏のアルバムタイトルで、その収録曲をモチーフに可英が踊った。テーマは「見えないものが見える」。ドラマは大詰め、惨劇の舞台となった東文化小劇場の「今」にフープする。劇中で行方不明になった少年が、70余年の時を経て客席から現れる。いささか突飛な演出ではあったが、「戦争は遠い過去の出来事ではなく、その悲しみは今も続いているのだ」と訴える作品のメッセージは、私の胸にも確かに届いた。(5月31日・東文化小劇場)



「幻視者」(ギャラリハセ)
観客、演者が一体化して完成させたパフォーマンスだった。

電車の車内のような横長の密封された空間。可英は視覚、聴覚、触覚を頼りに「見えないもの」と対話し、やがて同化した。後半はイメージを一転し、可英はピアノから放たれた「音の魂」になつて躍動。笑いながらマリオネットのように舞い、闊達(かっかつ)なダンスでピアノリストを触発し、一気にクライマックスに到達した。60〜70人の観客が肩を寄せ合い2人の共演を見守り、そして絶賛の拍手を送った。まさに観客、演者が一体化して完成させたパフォーマンスだった。

オペラと奮闘! 10周年のTMO

とっかいマスターズ
選曲、構成、指揮者、そしてソリストの人選。よく練り込まれたオペラコンサートだった。NPOとつかいマスターズオーケストラ(以下TMO)の「10周年特別演奏会」(4月30日・しらかわホール)だ。



ケストラ(以下TMO)の「10周年特別演奏会」(4月30日・しらかわホール)だ。

TMOは、長年演奏活動をやってきたプロ、アマの演奏家が集まり07年に結成。「人生の達人のための音楽会」のタイトルで毎年2回の定期演奏会を継続し10周年、第20回

問奏曲

「音楽の友」4月号が、3年ごとの読者アンケートを掲載した。「あなたの好きな○○は？」という形式の人気投票で、たいいては予想の範囲内だったが…。

日本人指揮者は、小澤征爾が不動の1位で、2位は広上淳一が前回の7位から躍進。京響はもちろん、各オケで高い評価を迎え、「蝶々夫人」椿姫「ほかを披露した。TMOがオペラを演奏するのは今回が初。そのせいか、少々弾みを欠いた感があった。

豊かな表現力、キャラクター全開

演奏家ソサエティ
名古屋演奏家ソサエティ(代表・澤脇達晴)が「世界名曲コンサート」を開いた。出演者17人のキャラクターに長短はあるものの、真剣に音楽に取り組む姿勢は共通。初春の風のように、さわやかな演奏会になった。

夏目久子(メゾ)は北原白秋作詞、山田耕作作曲の「蛙の夜まわり」で、彼女ならではのコミカルなキャラクターを全開。灰塚弘(バリトン)は「椿姫」で、息子への情愛を「しみじみと歌い上げた。ファイナルは出田光代(ソプラノ)と客演・加藤利幸(テノール)の「カヴァレリア・ルスティカーナ」二重唱。名ソリストの圧倒的な名唱、名演に仕上げられた(5月5日・昭和文芸小劇場)。

名フィル20位、人気と実力は別?

を得ているからだろう。名フィルでもおなじみの川瀬賢太郎が13位と健闘。神奈川フィルの常任で関東の票を集めたようだ。小泉和裕は14位。小林研一郎は3位と依然人気が高い。最も気になったのは日本のオーケストラ。1位のN響は当然で、2位の日本フィル以下東京勢が上位に並ぶ。4位の神奈川はともかく、10位札幌、12位仙台、14位金沢、17位九州。我が名フィルは20位で前回の番外からは前進だが、仙台や金沢、九州より下位とは? 人気と実力は別とはいえず、プロなら人気も無視できない。名フィルだけの問題ではなく、地域性などみながら考える必要があると思う。(上原宏)

私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

- 青山 皆江 越智久美子 玉田 弘子
秋田巴喜子 小野由加利 つつみあつき
阿久津紀子 加藤 静子 手塚 淑子
浅井 孝子 金澤 志保 戸田美江子
荒川 洋子 蟹江 尾八 中川 幸作
出田 光代 神谷久美子 仲条 優理
伊藤 敬 黒沢 優子 夏目 久子
伊藤 直樹 小池 真琴 名鶴ひとみ
稲垣 舞比 工藤寿々弥 西川 長秀
井上 初子 神原菜生 野々山保治
齋 千龍 佐藤 典子 野村 祐子
内田寿千代 佐藤美智子 服部 節子
内田 寿典 澤脇 達晴 服部はる江
内田 寿晴 島田 倫子 花柳 馨優
内田 寿哉 白樺 八重林 雅仁
内田 寿翠 瑞鳳 澄依 淵本晴都子
内田 寿の千鶴 すずこしほ 松本 道子
内田 寿の美 鈴木久美子 見波 紀子
内田 寿の美知 鈴木 文雄 みやちともこ
大寺 資二 角田真優美 宮西 圭子
岡田 一男 高橋 肇 山口 雅子
岡田 純奈 武市 孝三 よしみゆっこ
岡崎 保彦 竹元まき子 渡部 千枝
小倉ひろこ 田淵友佳理 ほか

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6480円(税込)。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面に掲載させていただきます。お申し込み、お問い合わせは(株)マネージメント・プロ 052-733-3151。郵便振替口座00880-06-206130。

**22th Summer Concert**  
第22回 サマーコンサート

2018.7/5 (日) 10時 一般発売開始!

**後援 名古屋フィルハーモニー交響楽団**  
**サマーコンサート2018**  
2018.7/5 (日) 10時 一般発売開始!

**Duo Alvarito** Premier Concert au Japon  
アレクサンドル・アルヴァレズ & 伊藤 裕子  
2018.7.5 (日) 19:00開演

**上原宏の**  
☆音楽☆  
聴き歩き



3年ほど前のリサイタル以来注目している若手アーティスト・コンサートが、山本多恵佳ピアノが、山本多恵佳ピアノリサイタル(5月12日・熱田文化小劇場)でスタートした。

**7/1 (日) 10時 一般発売開始!**

豊田自動織機 Presents  
**Charity Concert 2018**  
**尾高忠明 & 小菅優**  
YU KOSUGE  
2018.11/7 (水) 18:00開演  
刈谷市総合文化センター 大ホール

7/1 (日) 発売開始 全席 7,000円 全席 5,000円 全席 4,000円 (全席指定・税込)

主催: 株式会社 豊田自動織機

**一曲二曲、二音音を的確に演奏**  
フルート・加藤菜月

愛知県立芸大の大学院を修了したフルート加藤菜月のリサイタル(4月21日・5/Rホール)。確かな実力の持ち主だった。

同じトリオ・ルーチェのメンバー百瀬愛莉のピアノと共演。気心の合ったアンサンブルを聴かせた。フォーレ「シチリアーノ」とアンコール曲クライスラー「愛の喜び」は



おなじみだが、ルイ・ガブリエルは名前も知らない作曲家。それでも聴きやすく退屈せず楽しめた。メインのシューベルト

「しほめる花の主題」による序奏と変奏は、歌曲を基にしたフルートの奏法を駆使する傑作。これを一首一首でいねいに、強弱の幅もあり、歌らしい表現力も感じさせた。この若さなら言つことはなし。基本を踏まえた奏法で、安心して聴ける。



女性には体力的に負担の多いホルンやバスーンも巧みに操り頼もしい。幅広い曲目を聴かせてほしい。

手でもその期待通りの内容だった。シューベルトリスト「鱒」で幕を開け、前半のベートーヴェン「熱情」で早くも聴衆を魅了した。

まとも過ぎては面白くないし、あまり個性的でもない違和感がある。その難しい課題を、山本ははっきりとした意思でクリアした。曲が進むにつれ、自然に引き込まれた。

後半はオーストラリア現代のヴァイン「ピアノソナタ第一番」。名前すら初耳だったが、緩急、強弱が自在に変化する作品の魅力が明快に伝えた。

最後のシューベルト「タエも十分だった。」

「ゴッスラハ人幻想曲」は、内面的な表情も感じさせた。全体にタフなプログラムを乗り切り、聴きごたえも十分だった。

**ホグストラアンサンブル全沢**  
第42回名古屋定期公演  
ドイツの俊英指揮者、**アレクサンダー・ロープライヒ**  
《ミュンヘン》をテーマにした室内オーケストラのための名曲集

2018年7月6日(金) 19:00開演 (18:15開場)

三井住友海上ビルホール

Grace公妃が愛した名門合唱団 初の名古屋公演!  
**モナコ少年合唱団**  
友誼出演 名古屋少年少女合唱団  
天使の歌声が織りなす地中海の響き。

2018.7.21 (土) 15:00開演 (14:15開場)

三井住友海上ビルホール

**OKAYA CHARITY CONCERT 2018**  
~感謝のタベ~

7/31 (火) 全席指定 1,000円 (税込)  
2018.7.31 (火) 開場18:00/開演18:45

日本特殊陶業市民会館フォレストホール

主催: 岡谷鋼機株式会社

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ  
**クラシック名古屋**  
052-678-5310

名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは  
**アイ・チケット** 0570-00-5310  
(10:00~17:00 ※日祝休み)

クラシック名古屋のプレイガイド「アイ・チケット」

クラシック名古屋のプレイガイド「アイ・チケット」  
多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことまでオペレーターが丁寧に対応いたします。

ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。